

中2クラス要項 [2025年度]

あざみ真学塾

<AZAMI>

指導科目

英語・数学・国語・理科・社会 [全科目必修]

学期制

- ・中2クラスは3月～翌年2月末までの1年間を、以下のように3期に分ける。

第1期 - 3月～7月末 [7月下旬に判定試験 → 第2期の新所属組決定]

第2期 - 8月～11月末 [11月下旬に判定試験 → 第3期の新所属組決定]

第3期 - 12月～2月末 [3月上旬に新中3進級試験 → 中3第1期所属組決定]

クラス編制

- ・A, B, C1, C2 の4組(習熟度別)に編制し、定員と教室は以下の通り。

A組 - 定員約10～12名 [本部榎町1階101教室]

B組 - 定員約18～20名 [本部榎町2階201・202教室] 【注】B, C1, C2組の

C1組 - 定員約18～20名 [本部榎町2階201・202教室] 国語は、高師教室使用

C2組 - 定員約18～20名 [本部榎町2階201・202教室]

- ・A, B, C1, C2組の組編制は、以下のようにして決定する。

第1期 = 「新中2入塾進級試験」及び「中1時代の学校成績」(特に、英数国)等
によって習熟度別にC2, C1, B, A組の順で所属組を決定。

第2, 3期 = 各期に塾内で実施した各種試験成績、宿題成績、出欠状況、授業態度、各担当講師の意見 及び 期末に行う判定試験をもとに新所属組を決定。
習熟度別に、C2, C1, B, A組の順とし、各期ごとに所属組を決定。

成績連絡通信制度

- ・上記の各期ごとに、生徒本人の塾内での各種試験成績、宿題成績、出欠状況、授業態度、講師意見、個別講評 等を記した「真学塾通信」を保護者へ直接に伝達。

個別面談

- ・必要及び希望に応じ、三者面談[生徒+保護者+講師]又は二者面談を適時実施。
⇒学校、塾、家庭での勉学状況、生活状況、その他についての面談。

各科目の指導内容 ★全科とも塾作成独自のテキスト、プリントを使用(毎年更新)

英 語

- 3月 : 塾作成プリントを使用し、「中1英語総復習+演習問題」の指導。
- 4~7月 : 中2内容の指導 = 塾作成独自の「中2英語テキスト」(教科書+応用)を使用して教科書の文法、単語、熟語、本文を指導し、単元ごとに「演習問題」を解く。
- 8月 : 夏期集中授業として、塾作成プリントを使用して中2前期の総復習+応用。
- 9~1月 : 中2教科書をすすめ、塾作成プリントを使用して教科書からさらに発展した「応用問題」を解く。
- 2月 : 塾作成プリントを使用して「中2全体の総復習+応用演習問題」を指導。

[注] 英語は以上のほか、適時「リスニング問題演習」「英単語テスト」等の指導を行う。

数 学

- 3月 : 塾作成のプリントを使用し、「中1数学総復習+演習問題」の指導。
- 4~7月 : 中2内容の指導 = 塾作成独自の「中2数学テキスト」(教科書+応用)を使用して教科書内容+応用力養成に努め、単元ごとに「演習問題」を解く。
- 8月 : 夏期集中授業として、塾作成のプリントを使用して中2前期の総復習+応用。
- 9~1月 : 「中2数学テキスト」を使用して中2教科書内容をすすめ、塾作成プリントを使用して、教科書からさらに発展した「応用問題」(入試レベル)を解く。
- 2月 : 塾作成プリントを使用して「中2全体の総復習+応用演習問題」を指導。

国 語

- ・塾作成プリント [中2教科書+応用問題] を使用し、長文読解、詩、古典、文法 等の習得。また、塾作成の「中2教科書重要漢字範囲表」を配付して漢字の読み書きを習得させ、これを範囲として、毎回の授業で「漢字確認試験」を実施。
- ・学校の中間、期末試験の直前は、塾作成プリントを使って中2教科書の総復習を実施。

理 科・社 会

理 科 = 塾作成プリント+塾テキストを使用し、中2範囲の説明+応用演習問題。

社 会 = 塾作成プリントを使用し、歴史、地理の中2範囲の説明+応用演習問題。

[注] 理社とも、8月の夏期集中授業は、塾作成のプリントで中2前期総復習+応用。

質問カード制度

- ・各科目とも授業中に生徒からの質問をそのつど受けて答えるが、このほか、事前に全生徒へ「質問カード」を配付 → 生徒はカードに質問内容(不明な点など)を書き、担当講師へ渡す → 次回授業日に、講師が回答と解説を記して生徒へ返却する。質問内容に応じては、別時間を設けて、担当講師が個別指導で生徒へ直接に説明。

宿題の提出

- ・中2の宿題は下記の2種類があり、点数化して所属組決定の総合点に算入する。

① 通常宿題プリント

英語、数学について、適時、塾作成プリントによる宿題を課す。

[注] この宿題は、単元によっては、所属組ごとに問題内容が異なる場合がある。

② 春期、夏期、冬期宿題

春休み、夏休み、冬休みに家庭学習用テキストを配付し、宿題として塾へ提出。

[春期=業者テキスト(塾向け教材会社使用) / 夏期、冬期=当塾作成のテキスト]

学校試験対策 [中間、期末対策]

- ・当塾では、内申点対策として学校の中間、期末試験を重視し、各学期ごとに学校の中間、期末試験の約1週間前に、英数中心に「中間、期末試験対策」を実施。
→ 塾作成のプリントを使用して、各科目とも学校の試験範囲を特別指導する。

学校成績の報告

- ・学校での生徒の学力動向を把握するために、全生徒に「学校試験報告書」を配付し、学校で行われた試験結果(成績)を塾へ報告させる義務を課す。
[報告する成績=中間、期末試験成績(5科)・学力テスト成績(5科)・内申点(9科)]
- ・この報告により、塾指導科目の成果が学校の成績にも反映されているかを確かめる。

英語検定試験[英検]と指導

- ・当塾は英検準会場に指定されており、当塾での英検受験希望者に対し、塾作成のプリントと資料を使用して特別指導を行う(授業料は無料 / 資料代1,000円)。
[受験可能級=英検2級、準2級、3級、4級、5級 / 受験料は本人負担(実費)]

夏期集中授業 [英数理社]*非公開(塾内生のみ対象)

- ・夏休み中は通常よりも授業時間を多くし、講習型式の集中授業実施=英数理社の中2前半の総復習+応用力強化[塾作成のプリント使用 / 8/22~30に実施予定]。

補習授業

- ・英語、数学を特に苦手とする生徒に対し、補習を必要と判断した場合は、通常の授業時間以外に、少人数クラスで特別補習を実施する[無料]。

塾内実施の各種試験

確認テスト

- ・英語、数学の塾授業を理解しているかを確かめる試験。

塾授業への集中力を高めることも目的とし、英、数とも事前に予告して実施。

定期試験 [英数国]

- ・英数国の中2教科書内容を生徒が理解しているかを確かめる試験。

学校の中間、期末試験の直前に、学校の試験範囲に合わせて年間4回実施。

- ・理社は、中間、期末試験の直前に「中間、期末試験対策プリント」を配付。

判定試験 [5科目]

- ・英数国理社について、塾の各期全体の指導内容を理解しているかを確かめる試験。

塾の新しい学期での所属組を決定する重要基準となる。

第1回判定試験：7月下旬に実施。第1期の5科目の塾指導内容を全範囲とし、

第2期(8~11月末)での所属組決定の重要基準。

第2回判定試験：11月下旬に実施。第2期の5科目の塾指導内容を全範囲とし、

第3期(12~2月末)での所属組決定の重要基準。

【注】・所属組の決定基準には、上記の試験成績のほかに、宿題成績、出欠状況、授業態度、担当講師の意見なども含まれる。

実力テスト [塾模試・5科目]

- ・主要5科目(英数国理社)の実力をはかるための業者テスト。中2時での志望校合格可能性判定を行う千葉県統一模試[中1,2=年3回 / 中3=年9回実施]。

【注】業者テスト = 過去に中学校内で実施されていたが、現在は、塾を中心に実施。

千葉県では、進学研究会(進研)と総進図書(総進)の2社が最大。

第1回模試：4月実施、進研テスト(千葉県統一) / 中1復習、対策用問題集配付

第2回模試：9月実施、進研or総進テスト(千葉県統一) / 中1~2前期の範囲

第3回模試：1月~2月実施、進研テスト(千葉県統一) / 中2範囲

新中3入塾選抜試験

- ・来年の2月末~3月初めに実施。中2全体の英数国の指導内容を全範囲とし、中3予定定員(4組=約60~65名)までを合格とする。

【注】・この選抜試験は、欠員待ち生徒及び新中3からの新規申込生徒も受験し、新中3の予定定員まで合格 → 中3の第1期所属組の決定基準にもなる。

中2クラスの通常授業日程 [本部101, 201, 202教室 / B, C1, 2の国語は高師]

組/曜	(木)	(金)	(土)	(日)
A 組		数学・理科 (毎週) 6:20～8:50 又は 7:20～8:50	国 語 (隔週) 7:20～8:50	英 語・社会 (毎週) 6:20～8:50 又は 7:20～8:50
B 組	国 語 (隔週) 7:20～8:50 (例外 5:30～7:00)		英 語・社会 (毎週) 4:20～6:50 又は 7:20～8:50	数 学・理科 (毎週) 4:20～6:50 又は 7:20～8:50
C1 C2 組	国 語 (隔週) 7:20～8:50 (例外 5:30～7:00)		英 語・社会 (毎週) 4:20～6:50 又は 7:20～8:50	数 学・理科 (毎週) 4:20～6:50 又は 7:20～8:50

[注] 表中の例外とは、学校又は塾の行事等が木曜日に入り、使える(木)が月に2～3日となつた場合。

注意点

1. 毎月、生徒全員に日程表を配付するので、その日程表をよく見て出席のこと。
2. 英語、数学 = 毎週各1回ずつ [英語4回+数学4回] = 合計月8回
理科、社会 = 隔週で、月に2回ずつ [理科2回+社会2回] = 合計月4回
国 語 = 隔週で、月に2回 / 1ヶ月の全授業回数 = 月14回 (10日)
3. 組により、(土)(日)授業の開始、終了時間が、上表より1時間程早くなる場合がある。
4. (木)～(日)が月に5日ある場合は、いずれかが休みになる。
5. 原則として、祝祭日でも授業は実施する(ただし、5月の連休等で例外ある)。
6. 学校や塾の行事(運動会、中3講習会等)がある場合、他の曜日に変更あり。
7. 8月は集中授業を実施し、通常よりも授業時間が多くなる(8/20頃～から9日間)。

振替受講制度：特別な理由で受講できない授業あれば、申請により他の組での受講を認める。

[注] 特別な理由 = 学校行事(部活等)、突発的病気、家庭の冠婚葬祭行事等に限る。

欠席、遅刻等について

- ① 特別な理由のない限り、塾授業に欠席や遅刻をしないよう努めること。
- ② やむをえず欠席、遅刻した場合は、原則として当日の午後3:00～9:30の間に保護者自身が塾本部へその旨(理由等)を電話連絡のこと→留守電は、メッセージを。
- ③ 欠席、遅刻が多い場合は、退塾勧告の対象となるので十分に注意すること。
特に、無断欠席、無断遅刻が重なった場合や不明瞭な欠席、遅刻があった場合は強制退塾となる場合がある(塾規則の違反が重なった場合も同様)。

担当講師

文系：足立 達人（長生高、慶應大）

足立 圭司（長生高、早稲田大）

松田 良和（長生高、専修大）

岡本 幸大（長生高、駒澤大）

理数系：齋藤 茂（長生高、千葉大）足立 光行（長生高、早稲田大）

高山 和輝（長生高、明治大）内山 純（千葉南高、敬愛大）村上 直樹（長生高、日本大）

土屋 航（長生高、早稲田大）長南京佑（長生高、東洋大）

事務担当：足立 美佐江 野坂 彩那

月謝・諸費用

月謝 – 1ヶ月 15,000円（税別） 入学金 – 無料 光熱費等 – 無料

・入塾時（進級時）に、以下を月謝と共に納入。3月の月謝は割引き（別紙参照）

年間プリント代、諸雑費（全費用含む1年分） – 11,000円（税別）

塾テキスト代、教科書テキスト代（5科、1年分） – 10,000円（税別）

塾模試代（業者テスト / 全3回の1年分） – 6,000円（税別）（一部を塾負担）

中2クラスの主な年間配付物 [下記以外に、多数の塾作成プリント、資料等あり]

英語 – 中2英語教科書テキスト5冊

数学 – 中2数学教科書テキスト7冊

国語 – 中2国語テキスト1冊、漢字範囲表15部

理・社 – 塾テキスト理科1冊、歴史1冊、地理1冊の合計3冊

春期、夏期、冬期の宿題テキスト – 合計4冊

バインダー – 塾プリント保存用5冊（英数国理社 = 色別で各1冊ずつ）

【注意事項】

① 月謝は、原則として各自の銀行口座からの振替（引落）とする → 口頭で説明

ただし、中2入塾時の全費用（消費税含む）は、塾の指定銀行口座への振り込みとする。

② 途中入塾の場合は、年間プリント代、諸雑費、模試代の分を月割りで減額する。

③ 途中退塾の場合は、年間プリント代、諸雑費、模試代の分を月割りで返却する。

④ 兄弟姉妹が同時在籍の場合は、全費用と月謝を約20~30%割引く（双方とも / 別紙参照）

⑤ 家庭の経済的な理由があり、保護者から申し出あれば全費用、月謝を割引く。

⑥ 夏期集中授業を実施する8月分月謝は別途代金となる（通常月謝の約20%増程度）。